

佐久市佐久っと支援金事業 自己評価報告書

		評 価 日	2019年11月5日
団 体 名	公益社団法人 佐久青年会議所		
事 業 名	夢への挑戦～やり抜く力の大切さ～		
対象経費	1,409,696 円	支援金交付 対 象 経 費	1,409,696 円
支援金額	176,000 円		

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>少子化が進む現代の日本。激動の時代を迎える今、あらゆる状況に対応しなければなりません。そのためには、人間力溢れる社会企業家の育成が必要であり、次世代を担う子どもたちを「地域が育てる」という意識を醸成させなければなりません。</p> <p>子どもは本来「やる気」「やり抜く力」を持っています。心身ともに健康な子どもは、新たな事柄に次々と挑戦していくことに喜びを持ちます。新たな課題を示されたときに、多くの子どもは与えられた目標に向かって「やる気」「やり抜く力」を出して自発的に取り組もうとし、努力します。努力したことが認められた時に、満足感を味わいながら、次の目標に向かうエネルギーを体の中に蓄えていきます。しかし、子どもたちに対する過保護、甘やかせすぎや過干渉な親の増加が原因で家庭の教育力の低下がしており、結果としてすぐにあきらめてしまう「投げ出す子」を生み出すきっかけとなっています。子どもたちは、難しい問題に出会っても、それに挑戦し自分でやり遂げることで自信を持つ「やり抜く子」であることが必要であり、大人たちはそれを支える姿勢が必要であると考えます。</p> <p>そこで、子どもたちにスポーツを通じて目標を持つことの大切さと、目標を達成するために努力することの重要性を伝えることで「やり抜く子」の育成を目的に本事業を企画いたしました。</p> <p>事業実施にあたっては、夢や目標を持つこととそれに向かいやり抜くことの大切さを、子どもたちに伝える大人にも感じていただきたい、また女性並びに母親の目線で夢や目標を達成するために必要な要素をお話ししていただくために、共催、会場である佐久平浅間小学校の先生、SAKUBLOOMイルミネーションと連携を図り、佐久地域を中心に幅広い世代の方に参加を促しました。</p>
	<p>内容</p> <p>【事業内容】 トークショー</p> <p>【ゲスト】</p> <p>○浅尾 美和 氏 (元プロビーチバレー選手)</p> <p>○狩野 舞子 氏 (元バレーボール全日本女子代表)</p> <p>【開催日】 2019年10月6日 日曜日</p> <p>トークショー 16:00～18:00</p> <p>【開催場所】 佐久市立佐久平浅間小学校 体育館</p> <p>【住所】 長野県佐久市長土呂1717番地</p>

【参加人数】 トークショー（佐久地域住民及び県内外住民申し込み405名）

参加結果人数：380人

両氏サインボール贈呈（18歳以下抽選にて選定 限定6ヶ）

【参加費】 無料

【トーク内容】

①夢への挑戦

現役時代の目標とは何だったのか。高校時代、オリンピック、何がきっかけでその目標を定めたのか、お話をいただきました。

②夢の実現のために

夢への実現のために、どれくらいの期間、どのような努力を重ねたのか。

チームメイトとの協調、両親との関係、練習以外で心掛けていた点をお話いただきました。

③挫折

ケガや不振、夢に向かう中で立ちはだかかった壁とは何だったのか。それにどう向き合ったか。どのように乗り越えたのか。そこで支えとなったのは何だったのか、お話をいただきました。

④今後について

現役生活から引退後にかけて、今後スポーツ界のみならず女性が活躍できる地域社会になるためには何が必要か。「自分らしさが出せる環境」や「夢に向かって努力できる環境」について、ゲスト本人の観点でお話いただきました。

⑤両氏サインボール贈呈

18歳以下の世代に向けて、本日のトークがきっかけで気づきや目標の一助にさせていただくために、限定数ではありますが、サインボールを本人から手渡ししていただきました。

※SDGsとしての取り組み

「5 ジェンダー平等を実現しよう」

5. C ジェンダー平等の促進、ならびにすべての女性及び女子のあらゆるレベルでの能力強化のための適正な政策及び拘束力のある法規を導入・強化する。

近年パワハラ等問題になっている日本スポーツ界。注目される中で、夢や目標に向かってどのような努力をしてきたのか、挫折から復活、また女性がより活躍できる社会になるためには何が必要か、スポーツの観点からお話しをいただいた。

「8 働きがいも経済成長も」

8. 6 2020年までに、就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。

やり抜く子の増加を目指すことで、将来の働き手の育成につながり、しいては経済成長をねらう。

スポーツ界で有名な方をお呼びすることは佐久地域では多くなく、スポーツにおいて、実際に活躍された方の声で発信することにより、参加者に対し説得性を持たせることができた点。また、持続可能な社会を目指すためのジェンダー平等、男女平等に関する社会の話を含むことで、参加者に対して意識向上を図れた点。

事業の活動実績



別記様式第5号（6の2関係）〔2枚目〕

事業の成果・効果	<p>○やり抜く子の増加 事業内容①～③、⑤を通して Q4の回答に対して、いい評価をいただいた回答が約9割 その中で、「あきらめずに挑戦していく、向かっていくということが大切だとわかった」（10代女性）、トークの中で「挫折に直面した時のアプローチ方法（ポジティブな捉え方に変換してみる）ことを学べた」（20代女性）「娘に伝えたい」などの声があり、目的に対する効果はあった。</p> <p>○ジェンダー平等に対する意識向上 事業内容④を通して Q5、6（ジェンダー平等に関する問）に対しても59件の回答をいただいた。 女性がより活躍できる社会を目指すための課題、改善方法として「男女平等に関する教育体制の見直し」「託児、保育施設の充実化」「企業単位での就業体制の見直し」などの意見を抽出することができ、ジェンダー平等に関する意識の向上と今後の事業内容構築のための一助とすることができた。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>自己評価を記入</p> <p>概ね申請通り行くことができたが第二部について、企画と内容を変更せざるを得なかった。主となる内容については申請通り行うことができた。そのため集客のターゲット年齢層を小中学生の子を持つ大人世代を中心に行った。</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>自己評価を記入</p> <p>事業の成果記載と別紙アンケート集計より、152件中9割の方に評価していただいたことと、感想から多くの方に夢や目標を持つことと、それに対してやり抜くことの大切さを認識していただくことができた。</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ）</p> <p>申込完了の発送費を使用しなかったため、減額となった。</p>
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の事業を通じて、目標に対してどのような行動を起こすのかを念頭に置き、本会議所で行っている青少年育成事業（佐久っ子道場、佐久チャイルドワークス）に活かしていく。 ・説得力と発信力に長けている著名人からのメッセージを利用できる事業構築をしていく。 また、他団体事業（今回はSAKUBLOOMイルミネーション）と協力することで双方に効果的（交流人口創出など）なため、地域と連携し検討していく。 ・ジェンダー平等について、地域住民または当事者からの声を抽出することができた。持続可能な開発目標に関して、行政とも連携した事業に活かしていく。
---------	---